

(新聞各紙等の記事を要約)

平成 20 年 12 月 26 日

道州制基本法の骨子案策定を断念 政府、ビジョン懇談会 道州制の策定急がず＝鳩山総務相

政府の道州制ビジョン懇談会の江口克彦座長(PHP総合研究所社長)は26日、年明けの取りまとめを目指していた道州制基本法の骨子案の策定を断念する考えを示した。同日開かれた集中審議後、記者団に明らかにしたそうである。

道州制基本法をめぐっては、中間報告では2011年の通常国会提出を目指すとしていたが、堺屋太一委員の提案で、予定を前倒して骨子案の策定に向けて議論をしていた。

江口座長は、計4日間の集中審議で議論された道州ブロックの区割りの考え方などを盛り込んだ「報告書」を1月末までに取りまとめ、鳩山総務相に提出するとしていた。

ところが、鳩山邦夫総務相(道州制担当相)が、来年3月にまとめる国の出先機関改革の実施計画など地方分権への取り組みを道州制より優先させる方針を示し、江口座長に「骨子案の策定を急いでもらう必要はない」との考えを伝えたためと報じている。

* 本会としては、道州制に対して政府が後ろ向きであることは大変残念である。